

【中学校】

学校名	取組み事例
<p>広島市立            二葉中学校            湯来中学校            長束中学校            伴中学校</p>	<p>指導内容を明確にした指導を実施するため、単元の指導内容を絞り込んだ年間指導計画を作成するとともに、絞り込んだ内容について、「児童生徒に教える過程」「児童生徒ができるようになる過程」「児童生徒が学びを自覚する過程」を位置付け、児童生徒が確かな学力を身に付けることができるようになるための実践研究を進めている。</p> <p>本年度は、言語活動と指導内容のより適切な組合せ及び、言語活動における目指す児童生徒の姿を具体的に想定することに重点を置いて取組みを進めている。</p>
<p>大竹市立            栗谷中学校</p>	<p>各教科において「技能の習得」及び「能力の開発」の視点で生徒につけたい力を明確にした各教科における具体的な取組みを計画し、実践を進めることによって生徒の「発言力」を育成する取組みを行っている。</p>
<p>廿日市市立            阿品台中学校</p>	<p>朝読書の充実            1分間スピーチ            そのことばSTOP &amp; GO作戦            ことばの視点の焦点化(学習指導案)            発表規律3Eを意識した取組み            校内読書マラソンの実施</p>
<p>廿日市市立            吉和中学校</p>	<p>読売新聞「教育ルネッサンスことばの授業」により、インタビューの仕方、メモのとり方、記事の見出しの作り方などの授業を実施した。</p>
<p>呉市内            11中学校区</p>	<p>呉市内11中学校区の小中合同研修会にステップ・アップ・リーダーを講師として派遣し、年に2回(理論研修、ステップ・アップ・リーダーによる示範授業)の研修をとおして、ことばの教育の充実を図る。</p>
<p>江田島市立            能美中学校</p>	<p>教職員が「言語技術」を習得・活用するための体制づくり            生徒が「言語技術」を習得するための体制づくり            言語環境を整える体制づくり(校内掲示、「出張図書館」の設置)</p>
<p>府中町立            府中緑ヶ丘中学校</p>	<p>ことばの教育を活かした授業づくり            (「書くこと」を取り入れ、適切な言語技術の活用)            「発表の仕方」「説明の方法」についての掲示し、授業などで利用            定期テストの工夫            (言語技術を用いた解答をする問題を全教科で作成)            朝読書(10分間)の取組み</p>
<p>海田町立            海田中学校</p>	<p>校内研修「ことばの教育について」の実施(4/30)            海田南小学校 ステップ・アップ・リーダーによる校内研修の実施(夏休み実施予定)            各教科における言語技術(結論先行の受け答えなど)を意識した授業実践・声かけ</p>

<p>海田町立 海田西中学校</p>	<p>1年生から3年生まで「総合ことばの時間」を年間15時間開設して授業を行っている。取組み内容は「問答ゲーム」「絵の分析」「再話」などである。感動ジュニアレポート作成も学校行事の後の「総合ことばの時間」を使って書かせている。1年生と2年生はHR学習で文章視写にも取り組んでいる(この取組みをチャレ文と呼んでいる)。</p>
<p>安芸高田市立 高宮中学校</p>	<p>正しい言葉遣いによる挨拶やマナーの日常的な指導の徹底 各教科での「言語技術」を意識した授業の実施 町内意見発表会の実施</p>
<p>北広島町立 大朝中学校 大朝小学校 大塚小学校 新庄小学校</p>	<p>北広島町立大朝中学校・大朝小学校・大塚小学校・新庄小学校は「確かな学力の向上と豊かな人間性の育成を実現する小中一貫教育の創造～『ことばの教育』を軸とした教育課程・指導体制の確立を通して～」というテーマで小中一貫教育の研究を進めている。 義務教育9年間を、基礎期4年、充実期3年、発展期2年の3期に区分し、「ことばの教育」を軸とした年間指導計画及び言語技術活用の具体的な実践事例を作成し実践している。 「言語技術」を高めるために実施している。毎週1回帯タイム並びに月に1～2単位時間の「ことばの学習」は、中学校のステップ・アップ・リーダーと小学校の教員と共同で行っている。このことは、小学校の教員にとっても、言語技術を活用した、確実な授業力向上につながっている。</p>
<p>北広島町立 芸北中学校</p>	<p>4年前に新設した「ことばの技能科」を中心に、他教科や実生活で有効に活用する基本的言語技能を育成し、様々な場面で活用している。今年度は通常カリキュラムへの移行期間であり、3年間積み上げられた「ことば」の教育を生かし、実践している。 「なぜ」「何が」「どうして」などの切り返しの発問が、生徒の思考を深めることを確認しあい、日々の授業で実践している。 話す力の育成・・・生徒朝会や行事の挨拶など、場にふさわしい内容を、分かりやすく、原稿を見ずに話すよう指導している。 各学年で取り組む「1分間スピーチ」・・・相手意識を持ち、分かりやすく話す指導をしている。 職員室に入室する時「なぜ」「なんのために」来たのかを言ってから入るよう指導を徹底する。 環境整備：「ことば」コーナー（生徒の心に響くようなメッセージの掲示）</p>
<p>北広島町立 豊平中学校</p>	<p>書くことの充実・・・各授業において書く活動を必ず取り入れる。また、行事のあと、書く視点を明確にし、600字程度のレポートや感想を作成する。 話す力の育成・・・生徒朝会や行事の挨拶など、場にふさわしい内容を、分かりやすく、大きな声で原稿を見ずに話す力を養う。 朝読書・・・毎朝10分間の読書タイムを設定し、読書する。 校内掲示の充実・・・「ことば」のコーナーを設け、生徒作品を、常時掲示する。</p>

竹原市立 忠海中学校	「言語技術」習得のための時間（ことば道場：教育課程外，年間20時間）において，本校で作成したカリキュラムにしたがい，指導を行っている。また，週2回の朝のHR（15分間）において，「ことば」の力を身につけるために，本校で作成した「思考表現道場問題集」に取り組んでいる。
三原市立 宮浦中学校	「言語スキル」の習熟過程（国語科におけるスキル学力観に立った授業改善，総合的な学習の時間における「言語技術教育」）の体系化
三原市立 第一中学校	ことばの教育を土台にしたコミュニケーション能力を育成するため，年間を通した具体的な活動（TPOに応じた言葉遣い，3分間日記【心象スケッチ】スピーチ・プレゼンテーション指導，読書活動）
尾道市立 因北中学校	生徒指導の視点に立ち，様々な取組みをとおして自己有用感の育成のために，繰り返し学習のあり方や，基礎・基本の定着を目指した指導方法の工夫を研究している。
尾道市立 重井中学校	ことばの力の育成を基盤とした授業改善に小学校と連携し取り組んでいる。また，校内言語技術研修会，管内言語技術講習会等に参加し研修を重ねている。
大崎上島町立 大崎中学校	生徒集会やHR等で，生徒一人一人にできるだけ多くの発表の機会を設け，意見発表等を行っている。
大崎上島町立 東野中学校	毎月2回，放課後に設定している「ことばのチャレンジ」の時間に，「言語技術」の習得に向けたドリル学習等を行っている。
大崎上島町立 木江中学校	毎月2回，言語技術習得のためのドリル学習の時間（ことばの時間）を設けている。また，ことばの時間日より「つむぎ」を発行している。
世羅町立 世羅西中学校	受信（しっかり教える），熟考（じっくり考える），発信（はっきり表現する）の「ひろしま」学びのサイクルを全授業に導入し，言語技術を毎時間意識して授業を行う。 ことばの時間を創設し，各学年年間15時間授業を行っている。
福山市立 向丘中学校	NIEを取り入れた学習，言語技術のワークブックを活用した学習を通して，「話す」「聞く」「書く」「読む」力を育成する取組みを行っている。
福山市立 福山中学校	全学年で教科「コミュニケーション」を設け，国語科・英語科で習得した言語技術を基盤に，様々な形態のコミュニケーションを経験し，学習していく中で日本語と英語による実践的コミュニケーション能力を育成している。 日本語の活動では，言語技術の指導を取り入れ，生徒の興味・関心・意欲に配慮した題材や活動内容を工夫している。（例：「電撃！記者会見」「ラジオ現地レポーター」等）
府中市立 上下中学校	先進校視察を行い，「ことばの教育」を進めるための授業モデルを作成し，全教科で「ことばの教育」について取り組んでいる。具体的には，授業の展開において，「言語活動」の場面を必ず設定し，生徒の思考を深め，はっきりと表現する力の育成に取り組んでいる。
神石高原町立 油木中学校	言語技術の手法を活用し，問題解決的学習「さしすせそ学習」を基盤とした授業スタイルを展開している。

三次市立 八次中学校 (八次小学校)	「生きて働く『ことばの力』の育成」を研究テーマに小中連携教育をすすめている。「言語技術」を取り入れた授業改善と「ことばの力」の育成による積極的な生徒指導に取り組んでいる。
--------------------------	---